



▲走る力だけではなく、幅広いスポーツにつながる身体づくりを大切にしている。トレーニングなどの様子はInstagram「@aile\_rc\_kumamoto」でも見ることができる

▲第60回全日本実業団対抗駅伝で第4区を走る窪田さん(トヨタ自動車所属時)

Public relations  
OZU TOWN

9  
September 2025

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

# おおづ

好きな時間、  
好きな場所で。

国勢調査は  
スマホから



広報おおづ 2025 9



発行・編集 大津市・総合政策課  
〒869-1292 熊本県熊本市中央区大津1233番地  
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>



印刷 印刷 株式会社  
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物インクを使用しています。

UD  
FONT  
易やすぐ読みまちがえにくい  
フォントを採用しています。

## 走る力を、 育てる力に



くぼた しのぶ  
窪田 忍さん(室)

全国の駅伝で活躍し、2024年に現役引退を発表した窪田忍さん。新たな生活の拠点に選んだのは大津町。第一線を走り抜けたトップランナーが、陸上指導や地域とのつながりを大切に歩み始めた姿にクローズアップした。

福井県鯖江市出身の窪田さん。高校から陸上を始め、駒澤大学時代には大学三天駅伝で通算5度の区間賞を獲得した。卒業後はトヨタ自動車に所属し、2015・2016年二回、九電工を経て、2024年に現役を引退した。

「これまで常に、多少無理をしても大丈夫」と思っていました。どんな人でも思うようにいかない時もある。無理をすることで、引き際を見極めることの大切さをここ数年で学びました」とその経験を振り返る。引退後の拠点に大津町を選んだ理由の一つは「家族」。妻の実家があり、子育て支援の手厚さも暮らしの安心につながった。

現在は「エールランニングクラブ」の熊本エリアコーチ兼エリアマネージャーを務めるほか、熊本大学陸上競技部の長距離コーチ、町の部活動地域展開コーディネーターとして活動している。指導の場では「陸上は楽しく」を基本にしながらも、「陸上だけでなく、挨拶や報連相など、社会で基本的なことを当たり前にできるようになって欲しい」と語る。

「速くになりたいけど、むしろゆっくりの方がいい」「そんな子どもたちの気持ちを落とさない。可能性を広げることを大切にしている。まずは町のスポーツイベントをさらに盛り上げ、そして将来的には「熊本には窪田がいる」「窪田に言えば大丈夫」と言ってもらえる存在になりたいと、これからの歩みに力を込める。



「絶対に迷子にならない」と心に決め、入念に下調べを行い、何かあった時のため、Suicaには一万円をチャージ。準備万端で挑んだおかげで、なんとか無事にたどり着きました。

電車の乗り換えが多く、気づけば1日で1万歩以上も歩いていました。東京ってこんなに歩くのかと驚くとともに、東京を歩く皆さんのスピードの速さにも圧倒されました。(M.S)

### こゝの声

先日、東京に行く機会がありました。私は以前、熊本県庁に行くつもりが熊本市役所に着いたこともあるほどの方向音痴。普段は車移動ばかりなので、バスや電車といった公共交通機関は大の苦手です。